

開催要項

【研修テーマ】 Re-start:アフターコロナのスノースポーツを考える

【開催期日】 2024 年 1 月 16 日 (火) ~19 日 (金) 3 泊 4 日

【会場】 ルスツ (北海道虻田郡留寿都町)

【宿舎】 ルスツリゾートホテル ノース&サウスウイング

【主催】 スノーボード研究会 (会長 湯川治敏:愛知大学)

【プログラム】

	1 日目	2 日目	3 日目	4 日目
午前		実技研修 2	実技研修 4	実技研修 6 11:00 閉講式
午後	13:30 開講式 実技研修 1	実技研修 3	実技研修 5 (W.S.)	
夕食後	室内研修	室内研修	室内研修 総会・ 情報交換会	

●講師 3 名 (※参加人数により、講師を追加依頼する可能性もあります)

進藤 正勝 氏 (ブロック技術委員)

飛内 伸哉 氏 (SAJ 競技部・教育本部スノーボード専門委員)

進藤 勝 氏 (SAJ ナショナルスノーボードデモンストレーター)

●実技研修 ※当日の天候やゲレンデコンディションにより変更となる場合があります

実技研修 1	ゲレンデ状況・滑りの確認
実技研修 2~4	本研究会の目的に沿った以下 3 テーマの研修内容とする。 ①滑走技術向上 自分自身の滑りの幅を広げ、滑走技術の質を高めることを目指す (地形や雪面状況に合わせた滑走、カービング等) ②指導者としての指導技術向上 デモンストレーション滑走も含め、滑走レベルに応じた指導法のバリエーションを増やすことを目指す (指導法、練習法、指導 Tips 等) ③実習学生を想定した指導・講習展開の再確認 雪面状況など実際の滑走コンディションや学生の滑走レベル (初・中・上級) や特徴に合わせて講習を展開するための実践的知識を増やすことを目指す (適切な斜度や雪面状況を踏まえたバーン選定など)
実技研修 5	ワークショップ (W.S.) ※希望者少数の場合は取りやめる可能性あり ①新雪・深雪、不整地斜面での滑走方法 ②グラウンドトリックの実践と指導方法 ③デモの滑走、SAJ の研修課題等
実技研修 6	振り返り・まとめ

●室内研修

◇雪上実習の動向や課題の共有 (講師や参加者からの話題提供)

◇大学体育における雪上実習の実践例や運営上の工夫に関する情報交換

◇スノースポーツの現状や指導者資格に関する情報交換

◇雪上実習実施にあたっての安全や感染症対策に関する確認

◇その他、研究会目的に沿った学びにつながる研修

●SAJ バッジテスト ※以下条件と当日の天候などが整った場合のみ実施予定

【条件】 ①参加者の中に受験班担当希望者及び検定担当可能な検定員がいること

②一定数の受験希望者数があること